

文化に関する懇談会（作家シリンさん、紀伊国屋書店ドバイ店）

4月28日、日本で文学賞を受賞されたシリン・ネザマフィさん、そして紀伊国屋書店ドバイ店の川上店長と蜷川さんが公邸に来てくださり会食。

シリンさんは日本語で書いた作品で文学界新人賞を受賞された方（芥川賞候補にも二度）。イラン・テヘラン出身で日本で大学・院に通い就職もされ、いまはドバイ在住。「白い紙／サラム」（文藝春秋）は私も読んでいました。ムスリムの高校生のなにげない、日本とかけ離れた日常生活の描写が実に新鮮。イスラム教が生活のここまで入ってるんだ、あれ、ここはそうでもないんだと発見。淡い恋心と戦争も。多彩な日本語表現に感嘆。こういう話がもっと読まれれば相互理解が進むでしょう。お話ししてみて日本語も英語もすばらしい。日本での普通の学生としての生活を通した視点が面白かった。UAEとイランのお話も。

ドバイモールにある紀伊国屋書店は、ご存じの方が多くでしょうが、驚くほどの巨大書店。地下から8階まで、そして別館もあるあの新宿本店の合計よりワンフロアの売り場面積が大きい。中東アフリカにある最大の書店だとのこと。英語、アラビア語、日本語等の書籍（含む、マンガ）や関連商品が人気で、文化発信の拠点としてたいへん貢献されています。これまでも当館と連携して文化イベントを開催して下さったし、今後の協力についてもお話ししました。

本について、文学について、日本とUAEとイランと世界の文化についてお話をうかがうことができ、幸福な時間でした。

